

# 民報 ゆうばり

# 12月議会で交通問題

# 夕張市成人祭に52人がつどう



## 交通問題について

◆ ◆ ◆  
昨年12月14・15日の両日、第4回定例市議会が開催されました。  
くまがい桂子市議の質問の概要をお知らせします。

### 質問1

南部地区でのデマンド交通実証実験の改善策や利用促進策と、今後対象地域の拡大予定をうかがう。

### 答弁1

2日前の予約から1日前の予約となり、利用者は3倍になった。今後は真谷地、楓、登川、十三里、

### 質問2

3か月前の本年、28年度、9月には、交通体系の基本方針として―

# 移動のしやすさが暮らしやすさ！ 住んで良かったと思えるまちづくりを

①様々な交通資源を、び支線と接続させる。効率的に組み合わせ、小・中・高の児童・生徒の輸送を第一に市民の足を確保する。  
②社光、新夕張間は「南北軸幹線」とし、移動実態に合わせた運行とする。

③何部・真谷地・楓・登川、滝の上地区は支線とし、南北軸上で南北軸幹線と接続させる。  
④「都市間幹線」は若菜、清水沢交通結節点で南北軸幹線及

単に不便だから増やすのではなく、これまで補てん型公共交通から、地域で育てる利便型へ転換のために、様々な政策と連携を図り進めたい。

バス路線が減便になった。札幌行きのバスの接続も半減された。その対策について、市長の考えは。

「JRの減便対策について」の一般質問に対し、『バス利用に切り替えていく』という答弁であったが、今年10月にはその

### 再質問

10月から更にバスが減便となり、特に本町・末広・鹿の谷方面から清水沢・南清水沢方面へは、7時台・8時台の早朝の便の後は、10時台の便がなくなり、清水沢から南清水沢へ行くことも困難に。帰りは4時台と5時台の2便しかない。JRの行きは7時台、8時台、12時台、4時台、7時台のみ。市民の声を紹介すると、「赤ちゃんや幼児は午後からはお昼寝の時間で、眠くな

### 意見

市民の暮らしの「生活のQOL Quality Of Life(生活の質)」の向上にかかわる大きな問題。生活の基本である『衣』『食』『住』の買い物にも、生きがいとなる趣味や生涯学習、市民活動などにも、移動手段が必要。交通手段があれば、商店街も活性化する。移動のしやすさが暮らしやすさとなり、住んでいてよくなったと思える町づくりにもつながる。

### 再答弁

待機場所は複合施設の建設など、具体的に今市が取り組むを進めている。不便な声は貴重だが、利用者側の協力も必要。現実的な対応の議論が必要と考える。

### 答弁2

JRおよび路線バスの減便への対応策について、市長の考えをうかがう。

「JRの減便対策について」の一般質問に対し、『バス利用に切り替えていく』という答弁であったが、今年10月にはその

「JRの減便対策について」の一般質問に対し、『バス利用に切り替えていく』という答弁であったが、今年10月にはその

市長・職員の更なる奮闘を期待する。

# 夕張市成人祭 輝かしい未来を願って

1月7日、市の成人祭が清水沢公民館で開催されました。



今年の新成人の該当者は66名で、当日は52名が成人祭に参加しました。

すでに社会人として働いている若者や、進学し学んでいる若者たちが再会を喜び、楽しそうに記念写真を取り合っていました。

また、わが子の晴れ姿をカメラに収めているご家族や、高校時代の先生と記念写真を撮る光景もあり、会場入り口は、あでやかな振り袖姿の新成人も多く、明るくにぎやかな雰囲気でした。

ここ数年、雪が降ることが多かった成人祭ですが、この日は快晴。

くまがい桂子市議と共産党後援会のメンバーが参加者の成人を祝い、会場入り口でJCPマガジンやマニユフェストなどを手渡しました。



## くずさんの 夕張歴史散歩(63)

大正10年のたたかい ③

北炭の計算ちがい

一心会の役員四名と鉦夫三名は、労働者代表として賃下げは見合わせる事、やむなくば延期する事』を申し入れます。

ここで北炭は大きな誤算をしていました。一も二もなく会社提案に賛同すると思っていた「一心会」までもが不満を抱き、鉦夫たちと一緒に逆になって異を唱え始めたのです。

北炭は大事な点を見落としていました。一心会の会員も同じ炭鉦夫だった、同じ現場で汗する労働者だったという事です。

### さて会社側の回答は

あわてた会社は、『賃下げは変更しないが、二月から四月までの三ヶ月間に限って歩増しして支給する』とし、『これで交渉は打ち切り』と言いつちました。

鉦夫たちは、夕張連合会として登川支部の烏山源五郎(副理事長)を急遽上京させ、鉦夫総連合会本部に応援を求めます。

たたかいは、夕張のヤマだけでなく全国的な構えの運動になったのです。



紙智子「国会かけある記」  
参議院議員

## 紙智子

### 連携し道民要求実現、暴走政治転換へ

一日は札幌市白石区の白石神社前で、畠山和也衆議院議員と衆議院三区と比例区の重複である川部竜二予定候補、伊藤りち子札幌市議、清田区では吉岡ひろ子市議候補とそろって新年のあいさつを行いました。仕事始めの街頭宣伝、道党の新春旗びらき、北海道農業協同組合中央会の新年交流会と道労連の旗びらき、各地後援会の新春のつどいなどに参加しました。二月は日本共産党の全国大会が開催され、解散総選挙が予想されている中で、意気高くスタートをきりました。

十二日から十三日は、参議院の沖繩・北方特別委員会にて根室、北方領土隣接地域を訪ね、関係者の皆さんと意見交換しました。昨年の日口首脳会談について、元島民の千島連盟の皆さんからは、「領土交渉について前進が見られず、期待外れだった」「共同経済活動とは、どのようなものか、領土の返還につながるのか、道筋を具体的に示してほしい」などの声が多く出されました。

羅臼の展望台から国後島を眺めました。どの議員からも「国後島はこんなに大きな島だったのか!」「すぐ目の前なのに、七〇年も帰れない島民のつらい気持ちを少しでも理解できた気がする」と感想が出されました。

党大会が終わる一月二〇日から通常国会が始まります。領土問題、北海道JRの鉄路廃止の問題をはじめ切実な課題に皆さんと連携して、取り組みながら、安倍政権の暴走政治を転換するために頑張る決意です。今年もよろしくお願ひします。